

秦野警察署との合同説明会を開催

自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 兒玉憲幸 1等陸尉）は、7月26日（日）、秦野警察署において、「警察・自衛隊合同説明会」を開催した。将来の進路に悩む若者たちに対し、国家の安全や公共の秩序を支える仕事である警察官および自衛官の魅力を伝え、理解と関心を深めてもらうことを目的として実施し、高校生や大学生を中心に多数の参加があった。

当日は、それぞれの業務内容や勤務体系、福利厚生などについて丁寧な説明が行われた。特に参加者の関心が高かったのは、「やりがい」や「職務の誇り」に関する話であり、現役の警察官及び自衛官による現場の体験談が紹介されると、参加者からは「実際に働いている方の話が聞けて参考になった」「これまででは漠然としか考えていなかったが、具体的なイメージが持てた」といった声が多く寄せられた。

平塚地域事務所は「今後も地域の若者が将来について真剣に考えるきっかけを提供し、公共の安全を担う職業の魅力を発信していきたい」としている。



飛行幹部候補生による航空学生制度説明会を開催 航空学生のリアルを語る

自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 兒玉憲幸 1等陸尉）は、7月29日（火）、航空自衛隊航空教育集団の飛行幹部候補生である隊員を講師に迎え、平塚地域事務所において航空学生制度説明会を実施した。

講師の隊員は、航空学生としての訓練や日常生活、福利厚生などについて、自らの体験を交えて丁寧に説明した。説明会では、航空自衛隊パイロットの任務、航空学生制度の特徴、年間の主要行事、一日の流れ、操縦士になるまでの訓練課程を具体的に紹介した。航空機の種類や役割、受験体験談や勉強方法など、これから航空操縦士（パイロット）を目指す人にとって参考になる内容となった。

参加者からは「具体的な訓練内容やキャリアの話が聞けてイメージが湧いた」「リアルな訓練や生活の話聞いて、自分も挑戦してみたいと思った」など、前向きな感想が数多く寄せられた。

平塚地域事務所では「受験を検討している方の進路選択の一助となるよう、今後も現役自衛官による説明会を開催していく」としている。

